

令和6年度 鳥取商工会議所建設部会 事業計画

◎活動テーマ

担い手や人手不足、賃金アップや生産性向上など業界課題に向け、行政との意見交換や必要な取り組みの実施

1. 正副部会長会議、常任委員会・総会の開催

- 正副部会長会議（年3回程度、必要に応じて適宜開催）
- 総会（年1回 定期総会（5～7月））
- 常任委員会（必要に応じて適宜開催）

2. 部会交流事業の開催（年1～2回程度）

部会事業の充実を図り、部会出席率向上のため気軽に参加できるように交流会を実施する。
※実施の際は総会、意見交換会、セミナー等とセットで実施

3. 意見交換会またはセミナーの実施

○行政庁との意見・情報交換会

- ・建設業界入職者を増やすために必要な研究・議論

（理由）働き方改革関連法の猶予期間が終わり、建設業にも時間外労働の上限規制、罰則規定などが適用され、業界の就労条件や環境が大きく変わる。入職者（特に若年層）を増やすにあたっては、適正な休日取得や適正な賃金の確保が重要であり、これを実現するには適正な価格や工期に基づいた受発注が必要。少なからず公共工事においては、受注者側、発注者側が同じ物差しの中で考えていく必要がある。

○セミナーの実施

- ・ロボティクスを活用した事例の研究・聴講

（理由）人手不足や就労環境改善等、業界の魅力向上のためには、作業のIT化やロボティクス化は今後、避けて通れない。若年層は生まれながらにしてインターネット等の情報環境が整った時代の人間であり、合理化や高効率な業務の在り方を好む。「機械に代替が可能な作業は機械に」を真剣に受け止めないといけない時代に入ります。

4. 視察・調査研究について

（理由）近年の自然災害や秩序が乱れつつある世界情勢を背景に、国民に危険をもたらす状況が増えており、これを踏まえ政府も3月に「特定臨時避難施設の技術ガイドライン」を出したところである。東京都なども地下避難シェルターの整備に言及しており、今年度は陸上設置型のシェルター及び地下シェルターの2つを視察し、シェルター建設におけるノウハウを学ぶ

○実施時期：10月7日（月）～8日（火）1泊2日

- ・直エンジニアリング株式会社（一般社団法人 日本防災シェルター協会）
（茨城県結城市田間2222番地2）
- ・NPO法人日本核シェルター協会
（茨城県つくば市竹園2丁目13番地30）
- ・HNEDA INNOVATION CITY
（東京都大田区羽田空港1丁目1-4）

5. 部会員が希望する事業